

第171回くらしの植物苑観察会 2013年6月22日(土)

ーレンズで覗く植物たちー

宮田公佳 (元国立歴史民俗博物館研究部)

レンズで植物たちを覗いて見たら、何が見えるでしょうか？

レンズを使うと、小さなものが大きく見えたり、遠くのものが見えたりします。めがねをかけると、ボンヤリとしていた景色がくっきり見えたりします。レンズは人間の目の能力を超えたり、手助けをしてくれたりとなかなか役に立つ存在です。

写真を撮影するときにもレンズを使います。いろいろなレンズがありますので、レンズを変えると植物たちの見え方も変わってきます。一本のレンズでも、使い方を変えると見え方が違ってきます。例えば、一般的に写真を撮影するときを使うレンズには「絞り」というものが付いています。この絞りを変えるだけで、植物たちが違った表情を見せてくれます。写真1はいわゆる絞りを開けて撮影した写真で、写真2は逆に絞って撮影した写真です。植物の背景のボケ方が違うことがお分かり頂けるでしょうか？植物を浮かび上がらせるように写したり、周りの様子を記録するように写したり、絞りを使いこなすと見慣れた植物でも一味違って見えてくることでしょう。

今回の観察会では、レンズの仕組みを簡単に説明して、それを踏まえた上で植物たちをレンズで覗いたら何が見えるようになるのかを示してみたいと思います。レンズで植物たちを覗くことが、植物たちとの関わりが深まるきっかけになれば幸いです。



写真1



写真2

次回予告 第172回くらしの植物苑観察会 2013年7月27日(土)

「沖縄の歌と植物」 内田 順子 (国立歴史民俗博物館研究部民俗研究系准教授)

13:30~15:30 (予定) 苑内休憩所集合 申込不要